

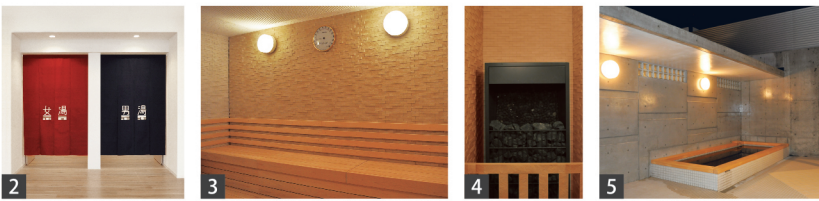
町湯、それは上質のくつろぎ。

町湯のお風呂は、昔の温泉をイメージした四方から入れる湯船が特徴的。湯船のひのき、浴場のヒバの木と、木の温かなぬくもりが上質のくつろぎを演出しています。

泉質は、からだに優しい単純温泉。源泉掛け流しのお風呂で、どこまでもゆっくりとおくつろぎいただけます。

町湯のサウナは、本場フィンランドで愛されている県内初の熱波(ロウリュ)サウナ。蒸気でからだを温め、お肌を乾燥させずに発汗できるので、女性にもオススメ。

入浴料：大人 ¥530 / 子ども ¥260 (11回券も販売)



1. 内風呂。木の香りが漂うくつろぎの空間。2. お風呂の暖簾。江戸染の特注暖簾。3. サウナ室。熱波(ロウリュ)の本格サウナが体験できる。4. ロックフェイスサウナ。熱波(ロウリュ)サウナの源のサウナストーンが入っている。5. 露天風呂。町家の坪庭をイメージした屋根付きの露天風呂。

湯気に集い、アートとくつろぐ。

町湯の土縁ギャラリーは、町家の通り庭をイメージしたギャラリー付きの休憩場。このギャラリーが町湯の様々な動線を繋ぐ役割を担っています。

土縁ギャラリーのギャラリーボックスには、企画ごとに山形ゆかりの作品などをセレクト。『湯気に集い、アートとくつろぐ』をコンセプトに、ここではお風呂と一緒にアートなくつろぎの空間を満喫できます。

ギャラリーと隣接した座敷は、和の要素が取り入れられた約28畳のモダンな有料休憩室になっています。

座敷利用料：大人 ¥210 (9:00~17:00)



6. 土縁ギャラリー。写真の左側が土縁をイメージした土間スペース。土縁ギャラリーの名前の由来でもある。7. オリジナル家具。利用者の休憩用ベンチ。8. ギャラリーボックス。このスペースに企画ごとに様々な作品や寄贈本が並ぶ。9. 座敷。



10. お腹がすいたら町湯食堂へ。背もたれが町湯カラーのかわいいイスがお出迎え。営業時間11:00~17:00(ランチタイムは14:00まで)11. 一番のオススメは、ブレンドにこだわった町湯カレー。